



世の中 右も左も 人工知能とやりに

乗っ取られてるなーと

ふと気付く、今日この頃。

人様の行動予測に基づき

なんちゃらかんちゃら？

頭良いのだから？ 悪いのだから？

理解不能だな。

元に在る 行動属性や

データに在るものを解析して、考えると在るが、パターン化されて

つまらないのでは？

学者さんは言う ドンドン蓄積されるから、そんなことはない。

ま 確かに 将棋やオセロでは 人様に勝って、

大騒ぎになっているなー。

では 試してみたいと思うのが、
我々が日々演奏している ジャズなる音楽だ。
音楽の楽典に基づき、構成された作曲家の意志を反映させた
由緒正しき音楽、「クラシック音楽」に対し、
感情表現、及びその場の一瞬の閃きを作曲し、音にする
自由度満載エモーショナルな音楽、「ジャズ音楽」。
しばし 人間界でも起こる 二大音楽論争がこの真逆の思考を持った
正統派の音楽なのである。
さあ 将棋 囲碁のように
AI 対 人間 として、音楽界でも対決できるのか？

✿ 2時間のコンサートを行うとしよう ♪

たぶん コンピューター音楽分野では
AI の途方もない蓄積物により、過去の作曲家の作品を分析し
とんでもない物が出来上がる可能性が在りそうだ、
現実ヒットの法則なるものを導きだし、ゲーム音楽や作品に
使用している者が出てくる程だ、
だが 待てよ、それは音楽を生業として行ってるものが、
手を出してはならない「禁断の果実」ではないのか？

そうなってくると モラルの問題だが、
AI にモラルハザード&ファイナルデシジョンはプログラム
されてるのだろうか？ 無ければ 他の分野でも
きっと大変な事態に出くわすであろう。

さあ
果たして 演奏対決は如何に ♪
結果は明白であろうと。

超一流のクラシック演奏者&ジャズメンは、
由緒正しき正統派の演奏を繰り広げ、目の前のお客様を飽きさせずに、
しっかりとした経験則と
目の前のお客様の感情をコントロールした上質な時間を
提供するであろう。

しかし
果たして 観客は どちらに軍配を？

と話はここまで ↓

判断は 皆様方に 委ねます。

最終的には 受け手である 人でしょうから。
教養と感情がそこに在る。

人が奏でるものと器械が発音するのでは 世界観が違いすぎるのです。

感情 という 計れないものが存在する限り、
筆者は、AI は音楽が出来ないものと感じます。
昨日と同じ演奏は絶対しないジャズメンは、行動属性が計れないものが
存在するので、データ化できません。
演奏してみるまで、何が出るかは共演者さえも分からないのです。
その音で紡いだ応酬の形が、皆様の記憶として残るだけなのです。
データではないのです。

(その内、その膨大な記憶をデータにして
擬きの演奏が出来る日が 来るかもですね(笑)
その時のおぞましい世の中は 私個人は 居たくないし、
想像したくありません。)

きっとその時は
便利になりすぎて
大事なものを失った現代への警笛です。
その時代に騙されないよう
お気をつけ下さい。

注記:

ここで言う音楽の定義は筆者が勝手に決めさせて頂いた
ものでありますので、突っ込まないで下さいね。



奥田英人氏のご略歴

1966年東京都生まれ。結成80周年を超えた、戦前より活動する世界最年長ビッグバンド、ブルースカイオーケストラのバンドリーダーであり、ドラマー&打楽器奏者（ジャズ、ラテン、ダンスナンバー）の第一人者。音楽プロデューサーとして、大人のエンターテインメントの普及にも尽力し、2017年で14回目を迎える帝国ホテルを舞台に毎夏開催される屋内型JAZZフェスティバル「Imperial Jazz」をプロデュースし「ジャズ界の”マエストロ”の地位を確固たるものとしている。

近年では”Swingする吹奏楽”をテーマにしたCD&楽譜「Swing Brass シリーズ」、「全日本ポップス&ジャズバンドグランプリ大会」のプロデュースを通じ中高生の指導、音楽普及に尽力。「NISSAN PRESENTS JAZZ JAPAN AWARD 2016」にて《ベスト・ライブ・パフォーマンス部門》受賞。現在、一般社団法人日本ジャズ協会 21 会長。公式サイト <http://www.bluesky.co.jp/>。